

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

西日本住宅研究会の家

グループの名称

西日本住宅研究会

直近採択グループ番号

06-0743-0705

(グループ代表者)

代表者名

杷野 秀治

代表者印

代表者所属先

株式会社直方建材

代表者所在地

福岡県飯塚市川津693-47

代表者電話番号

0948-21-8823

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社直方建材一級建築士事務所

事務局担当者名

重信 好文

印

事務局郵便番号

822-0003

事務局所在地

福岡県直方市上頓野1479-2

事務局電話番号

0949-24-2314

事務局FAX

0949-26-1928

事務局担当者E-mail

info@solarecho.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		29	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	29	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		14	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	14	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	一件当たりの補助金配分額は、構成員の過去の補助金実績数を鑑みて、受け取れる満額を配分するものとします。事務局に契約書の写しを提出してもらい、実態を把握したうえで提出順に配分決定をいたします。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	12	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	12	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西日本住宅研究会の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方全域・中国地方全域・四国全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 西日本住宅研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0743-0705	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	近年、全国各地で地震が多発しています。少しでも安心できるように耐震3等級の家づくりを勤めていきます。また、夏・冬の厚さ寒さに対して快適な室内空間を提供できる省エネ住宅の推奨を行い、長期優良住宅の建設へステップアップしていくお手伝いをする。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	以前は地球温暖化が叫ばれ、シェルターのような家づくりが進み、地方の気候や風土を全く無視した、周辺の家並みを全く考えない“個性”という名のわがままな家づくりもまかり通っていました。しかし、近頃ではこのような家を建てた方から「中間期には窓を思いっきり開けて自然と一体になりたいが、窓が小さいし、思ったよりも部屋が暗い」という言葉を聞くようになりました。西日本各地の気候風土を無視した結果と思われます。特に中間期は「省エネ」から「脱エネ」となる風土に合った家づくりを目指します。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域材の使用率を上げることは基より、居室に設ける窓は、熱貫流率3.49以上の性能の窓を使用する。また、Low-eの使用は窓の大きさ方位と気候を考慮した上で判断する。瓦は、台風を考慮し防災瓦を採用する。	○
④①～③の背景	この度のグループに加わってもらった工務店様は、今後の国策をとらえ長期優良住宅を家づくりの基本としていこうと考えてくれています。今年度は補助金を申請して、少しでも早く長期優良住宅の実績を作りたいと考えています。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ傘下の工務店様には、省エネ講習会を講習してもらう。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ①・②等の検討を行っているが、結果が出ていない。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ③の委員会が活性化するように、資料収集や連絡等を密に行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 現場チェックシートを作成し、施主へ提示し説明を行うようにする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: グループ外の第三者からのチェックを受ける等、施主よりの信頼を高めるようにする	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 大明細の一式出しの無いように、契約書に添付する見積書は小細の記載が有るものにする。追加工事の場合も工事着工前に書面で見積もりを出し口頭での約束は極力避けることとする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: グループ内での勉強会を開催し、浸透させる。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容: 構成員の現状からして、むづかしい。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容: 構成員個々の考えに任せられています。	○
③ 社会保険への加入	■ ない □ ある → 内容: 保険への加入を促しますが、あくまで構成員の判断に任せるしかできない状況です。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない □ ある → 内容: 健康診断等の促進を促しますが、あくまで構成員の判断に任せます。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西日本住宅研究会の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方全域・中国地方全域・四国全域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 西日本住宅研究会	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0743-0705			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報の共通管理・点検の共通化	○	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (第三者住宅履歴管理システム)を利用し、生産者情報も住宅履歴情報として蓄積する。	○	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書の順守	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画にのっとり点検・補修を行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 写真台帳の整備	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が率先し会場等を用意	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が率先し会場等を用意	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が率先し会場等を用意	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 早急に維持管理検討委員会を作り啓蒙を図る	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵保険を100%利用するように義務付ける	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅完成保証の保険に加入を促す	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1年に1回の割合で開催する	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内での勉強会・研修会の計画・実行	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 24 今年度の参加目標人数 12	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より開催場所日程の連絡を行う	○	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西日本住宅研究会の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方全域・中国地方全域・四国全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 西日本住宅研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0743-0705	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) 土台: 杉又は桧 柱: 杉又は桧 梁: 杉、桧又は松	○
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材: 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材: 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材: 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材: 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	○
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 原木供給者→製材業者→プレカット業者→建材流通→工務店 原木供給者→製材業者→建材流通→工務店(手刻み)	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 常にプレカット業者が把握している事	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内では価格を常にオープンにする	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 不足することは無い	◎
c	①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 西日本住宅研究会の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方全域・中国地方全域・四国全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 西日本住宅研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0743-0705	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

グループで推奨する数値

(認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅)

	目標とするU値	一次エネルギー
4地域	0.70	20.0%
5地域	0.78	20.0%
6地域	0.78	20.0%
7地域	0.78	20.0%